



kanamoto . カナモトエグザミナー
examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.96

第57期(2021年10月期)第2四半期号

DX実現へ向けたカナモトのICTソリューション

近年、建設業界が抱える「若年就業者の減少による労働力不足」という課題や、新型コロナウイルス感染症拡大に伴って高まる「リモート作業環境の構築」という要望への対応策として、デジタル技術を駆使して業務や働き方の改革を目指す「DX（デジタルトランスフォーメーション）」が注目されています。国土交通省でもインフラ分野でロボットや人工知能（AI）を活用した無人化・省人化・自動化施工の技術開発やICT施工の普及を促進するなど、DXの取り組みを強化しています。

当社でもIoT・ICT関連技術を活用した機器の開発・導入を積極的に進めているほか、当分野において高い専門性を持つ企業と業務提携するなど、DXの対応力強化に努めています。

TOPIC ① 建設機械の遠隔操縦の実現に向けた実証実験

当社とソフトバンク株式会社は、5G（第5世代移動通信システム）エリアの拡大やネットワークスライシング技術などの実用化を見据えて、通信ネットワークを活用した遠隔操縦の商用サービスの実現性に関する実証実験を、2019年から共同で行ってまいりました。先般も優先制御機能^{*1}を付与した通信ネットワークと「SmartVPN^{*2}」で構築した閉域網を活用して、当社が開発した遠隔制御装置「KanaRobo（カナロボ）」と4台のカメラを搭載した建設機械（バックホー）を、操作室から遠隔操縦する実証実験を実施。その結果、映像の遅延や操作信号の揺らぎを軽減させることに成功し、操縦者が遠隔でも違和感なく建設機械を操縦できることを確認いたしました。当社とソフトバンクは今後、天候やネットワークの負荷状態などを考慮した試験を行い、2022年以降の商用サービス提供を目指してまいります。また、建設機械の遠隔操縦の他、AI解析ソリューションなどを組み合わせたパッケージでのサービス提供も視野に入れ、さまざまな実証実験を行ってまいります。

^{*1} 一般的に、ネットワーク回線で提供される通信やサービスの品質「QoS（Quality of Service）」のこと。この実証実験では、LTEのネットワークに優先制御機能として帯域制御を付与した実験局を使用。
^{*2} IPトラフィックの爆発的な増加やクラウド市場の急速な拡大を背景に、「Cloud Ready」（クラウドとの親和性の高さ）をコンセプトに開発した、ソフトバンクのVPNサービス。

■実験風景

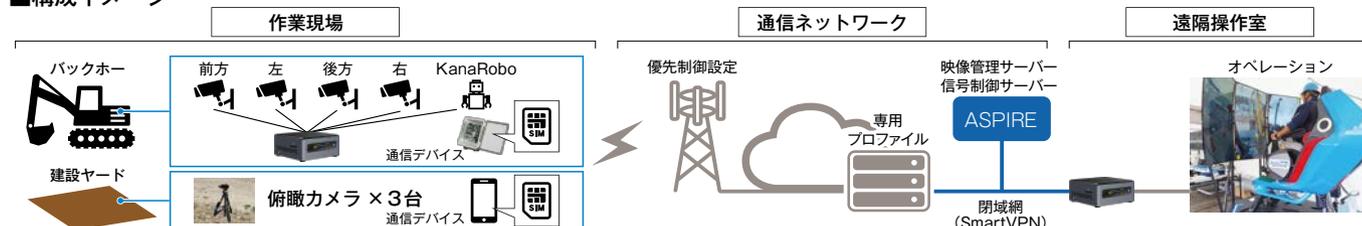


4台のカメラを設置したバックホー

遠隔操縦人型ロボットKanaRobo

複数の確認用モニターを備えた操作室

■構成イメージ



TOPIC ② ICT施工ソリューションの普及推進へ向けた業務提携

当社と当社グループ会社は、株式会社岩崎と業務提携を締結いたしました。同社は北海道に強固な基盤を持つ老舗のシステムソリューション商社です。この業務提携によって、Hemisphere製（UniStrongJapan）ジョベルシステムや地盤改良管理システム「MITS 工法版」、「表層改良版」、「中層改良版」の優先提供を受けられることになり、ICT施工ソリューションの普及推進と営業強化を図ります。今後、連携を深めながら全国規模でサービス拡充を行い、グループ全体でソリューションの蓄積と共有化を推進してまいります。

株式会社岩崎の概要

- 所在地
札幌市中央区北4条東2丁目1番地
- 代表者の役職・氏名
代表取締役社長執行役員 古口 聡
- 事業内容
OA機器、ICT関連機器、IT関連機器、精密測定器の販売・レンタル等
- 設立年月日
1947年12月12日
- 資本金
4億8,597万5,600円
- 従業員数
179名（2020年4月1日付）
- 売上高
76億円（2020年3月31日付）
- 拠点
本社 / 札幌・支店 / 東京、旭川、帯広・営業所 / 釧路、網走、苫小牧、函館、小樽、稚内、留萌
- ホームページ
<https://www.iwasakinet.co.jp>



第57期第2四半期決算の概況 [2020年11月1日～2021年4月30日]

● 連結経営成績 (累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第57期第2四半期	95,225 (4.2)	8,118 (△12.1)	8,683 (△4.0)	4,943 (△7.5)	130.75
第56期第2四半期	91,414 (△0.5)	9,239 (△18.0)	9,046 (△21.4)	5,344 (△26.3)	138.33

● 連結業績予想 (累計)

第57期通期	190,300 (6.3)	15,000 (5.3)	15,200 (6.5)	9,000 (6.3)	238.03
--------	---------------	--------------	--------------	-------------	--------

括弧内の数字は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率(%)

[経営環境]

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、引き続き厳しい状況で推移いたしました。政府による各種政策の効果もあり経済正常化への動きは続いているものの、変異株の流行や緊急事態宣言の再発令等、未だ先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は災害復旧やインフラ関連工事、国土強靱化計画の推進等を中心に引き続き堅調に推移した一方で、減少傾向が続いている民間設備投資は、緩やかながら一部持ち直しの動きがみられたものの、弱含みで推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、中期経営計画「Creative 60」(2020～2024年度)の3つの重点施策に基づき、国内外におけるアライアンスグループの基盤強化に向け、高いシナジー効果の期待出来る業務提携やM&Aを推進するとともに、さらなるソリューションの蓄積と共有化に努めるなど、会社の持続的発展と企業価値の向上に尽力しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は952億25百万円(前年同期比4.2%増)となりました。利益面につきましては、将来を担う人材投資やレンタル資産の運用期間延長に向けた中古建機販売の抑制などから、営業利益は81億18百万円(同12.1%減)、経常利益は86億83百万円(同4.0%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億43百万円(同7.5%減)となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

主力事業である建設関連におきましては、民間設備投資は依然として弱さが見られたものの、各地の災害復旧・復興工事や防災減災関連工事、また、社会資本の老朽化に対応する維持・更新等を中心に、公共投資は堅調に推移したことから、全体として建設機械のレンタル需要は底堅く推移いたしました。

また、当社グループでは、レンタル用資産の適正配置や効率的運用を進める一方で、IoT・ICT関連技術を応用した機器の開発ニーズへの対応力強化を進める等、サービス品質の向上と企業体制の強化を推し進めております。

中古建機販売につきましては、期初計画どおりの売却を進めたことから、売上高は前年同期比27.9%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は866億3百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は73億41百万円(同14.6%減)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報関連、福祉関連ともに堅調に推移したことから、売上高は86億22百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は5億44百万円(同27.1%増)となりました。

■ 連結財務諸表

四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）

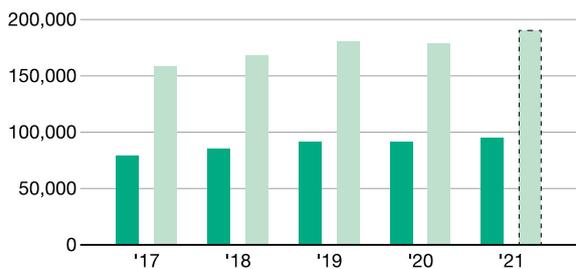
(単位:百万円)	第56期第2四半期 (2019.11.1~2020.4.30)	第57期第2四半期 (2020.11.1~2021.4.30)
① 売上高	91,414	95,225
売上原価	64,075	66,810
売上総利益	27,338	28,415
販売費及び一般管理費	18,098	20,297
② 営業利益	9,239	8,118
営業外収益	409	726
営業外費用	602	161
③ 経常利益	9,046	8,683
特別利益	16	43
特別損失	308	329
税金等調整前四半期純利益	8,754	8,397
法人税、住民税及び事業税	2,919	2,874
法人税等調整額	△ 84	20
四半期純利益	5,918	5,502
非支配株主に帰属する四半期純利益	574	558
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	5,344	4,943

四半期連結包括利益計算書（第2四半期連結累計期間）

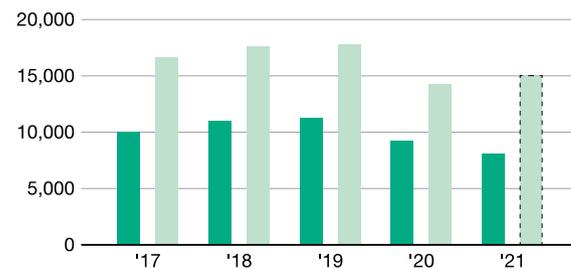
(単位:百万円)	第56期第2四半期 (2019.11.1~2020.4.30)	第57期第2四半期 (2020.11.1~2021.4.30)
四半期純利益	5,918	5,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 589	488
繰延ヘッジ損益	△ 0	0
為替換算調整勘定	27	914
退職給付に係る調整額	△ 29	4
その他の包括利益合計	△ 590	1,407
四半期包括利益	5,327	6,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,764	6,347
非支配株主に係る四半期包括利益	562	561

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

① 売上高



② 営業利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第56期 (2020.10.31)	第57期第2四半期 (2021.4.30)
(資産の部)		
流動資産	120,952	119,397
固定資産	179,795	181,087
有形固定資産	156,171	157,567
無形固定資産	9,332	9,190
投資その他の資産	14,291	14,328
資産合計	300,748	300,485
(負債の部)		
流動負債	87,606	83,191
固定負債	86,953	85,695
負債合計	174,559	168,887
(純資産の部)		
株主資本	117,744	121,209
資本金	17,829	17,829
資本剰余金	19,324	19,326
利益剰余金	82,599	86,030
自己株式	△ 2,009	△ 1,978
その他の包括利益累計額	1,346	2,750
その他有価証券評価差額金	1,522	2,009
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	△ 126	788
退職給付に係る調整累計額	△ 49	△ 46
非支配株主持分	7,097	7,638
純資産合計	126,188	131,598
負債純資産合計	300,748	300,485

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第56期第2四半期 (2019.11.1~2020.4.30)	第57期第2四半期 (2020.11.1~2021.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,108	20,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,751	△ 2,353
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,522	△ 14,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,847	3,434
現金及び現金同等物の期首残高	43,511	48,023
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	260
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,358	51,717

とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送していただいた方の中から、抽選で100名様にノベルティグッズをお贈りいたします。今号のプレゼントは、カナモトのオリジナルエコバッグです。ボタン付きのマルチバンドでコンパクトに折り畳めるため、持ち運びに便利です。深みのあるネイビーでシンプルなデザインとなっており、ちょっとしたお買物などにお使いいただけます。

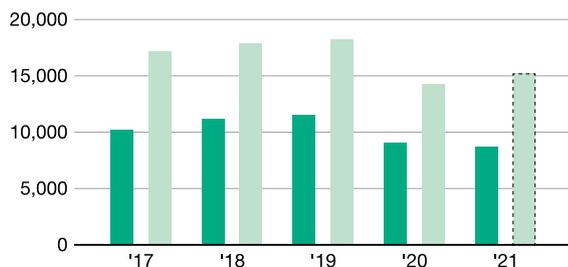
サイズ:
約W280×H550mm

小さく畳める
ポケットブル

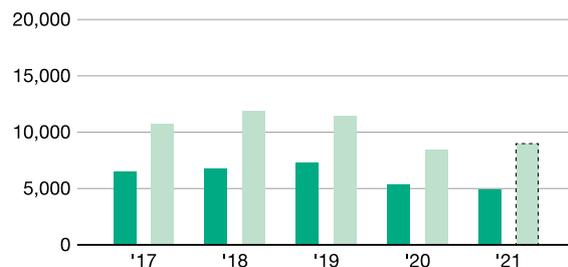


ご応募の締め切りは2021年8月6日(金)当日消印有効です。なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

③ 経常利益



④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



2Q

2021.2

IR 議渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込完了について発表

2021.3

ローカル5Gの実験試験局免許取得および実証実験の開始について発表

IR 第57期（2021年10月期）第1四半期決算発表

北九州営業所（福岡県北九州市）を開設

SIAM KANAMOTO CO., LTD.（非連結子会社・タイ王国）がバンコクに新拠点を開設



2021.4

金本寛中（当社代表取締役会長）が、北海道内の大学、高等専門学校に通う学生への奨学金支給を目的とした一般財団法人カナモト財団を設立

株式会社アシスト（連結子会社）が株式会社コムサプライを吸収合併

東京建築営業所 特殊小型機械センター（埼玉県三郷市）を開設

入社式・新入社員研修の規模を縮小し分散開催（今年度の新入社員は85名）

株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟から豪雪対応の災害支援企業として表彰

平塚営業所（神奈川県平塚市）が移転



この度、一般財団法人
カナモト財団を設立する
運びとなりました。



3Q

2021.5

SIAM KANAMOTO CO., LTD.（非連結子会社・タイ王国）が本社を移転

建設機械の遠隔操縦の実現に向けた実証実験の実施について発表

CSPI-EXPO（建設・測量生産性向上展2021）に出展（幕張メッセ）

株式会社岩崎（札幌市中央区）と、ICT施工ソリューションの普及推進に向けた業務提携を締結



2021.6

IR 第57期（2021年10月期）第2四半期決算発表

IR 第57期（2021年10月期）第2四半期決算オンライン説明会を実施（機関投資家向け）

ふたば営業所（福島県双葉郡）を開設



Photo Report

各地で進む復旧・復興工事



北海道勇払郡厚真町の林地荒廃防止施設災害復旧工事



岩手県下閉伊郡田野畑村の道の駅建設工事



宮城県石巻市の橋梁新設工事



宮城県亶理郡亶理町の漁港海岸災害復旧工事



宮城県伊具郡丸森町の河川災害復旧工事



宮城県伊具郡丸森町の緊急治山工事



福島県南相馬市の河川災害復旧工事



福島県双葉郡双葉町の河川災害復旧工事

会社概要 (2021年4月30日現在)

商号	株式会社力ナモト (英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	北海道札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964 (昭和39) 年10月28日
資本金	178億29百万円 (払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	38,742千株
連結売上高	1,790億53百万円 (2020年10月期)
連結従業員数	3,676名 (2020年10月31日現在) (役員、嘱託、臨時社員を除く)

株主メモ

事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先	

役員 (2021年4月30日現在)

代表取締役会長	金本 寛中	監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	成田 仁志*		生島 典明
	金本 龍男*		松下 克則
	橋口 和典*		石若 保志
	三野宮 朗*	執行役員	熊谷 浩
	渡部 純*		問谷 悟
	廣瀬 俊*		北川 健
	山下 英明*		佐藤 信幸
	内藤 進		中谷 秀樹
	有田 英司		田中 誠一
	米川 元樹		渡辺 光郎
	田端 綾子		小野田 隆司
	大川 哲也		

(注) 1. *印の取締役は、執行役員を兼任しております。
2. 取締役内藤進氏及び取締役有田英司氏、取締役米川元樹氏、取締役田端綾子氏、取締役大川哲也氏は社外取締役であります。
3. 監査役生島典明氏及び監査役松下克則氏、監査役石若保志氏は社外監査役であります。

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。

<https://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

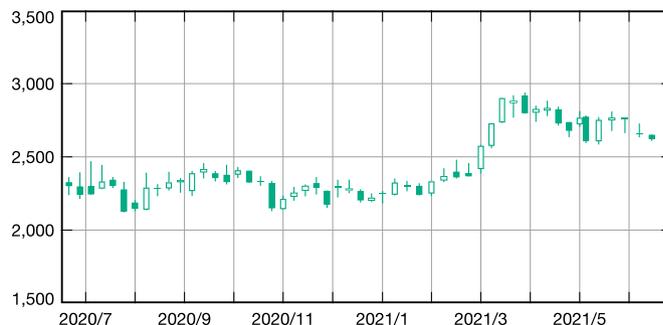
証券代行部 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号
電話 0120-232-711

株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価チャート (週足)

単位:円





本誌は、ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札証 証券コード9678)

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600(大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7

Tel: (03) 5408-5600

<https://www.kanamoto.co.jp>

